

地方道路整備臨時交付金 目標達成型パッケージの事後評価

平成20年 8月

対象事業	七ヶ浜町汐見台団地内の通行の安全確保	対象地域	七ヶ浜町(宮城県)
対象事業の期間	平成17年度～平成19年度(3年間)	対象事業No.	8
対象事業の目的	団地が造成されてから長期間経過しており、交通量の多い対象路線は路面全体の損傷が著しく、車両通行に支障をきたしている状態である、又、歩道については街路樹を一部撤去し、歩道幅員を拡幅し車道同様舗装打ち換え工事を行い、歩行者並びに車両の円滑な通行と安全確保を図りたい。		
対象事業の効果	事業の実施により、歩行者及び車両(路線バス等)通行の安全確保、並びに沿線住民の生活環境の向上も図られる。		B/C
対象事業の成果目標 (アウトカム指標)	汐見台団地内の歩行者・車両の安全性の向上率		
アウトカム指標の定義及び算定式	汐見台団地内の主要路線における交通安全対策等の施行率により算出。 汐見台団地内の歩行者・車両の安全性の向上率＝算出時の整備済み延長／要対策延長(計画延長)	アウトカム指標の現況値及び目標値	当初現況値 0.0% (H17当初) 中間目標値 - 長期目標値 100.0% (H19末)

事後評価

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H16	- 百万円
	H17	31 百万円
	H18	30 百万円
	H19	13 百万円

①
 プラタナス線 成果目標である舗装打ち換え及び歩道拡幅について、計画の通り平成19年度に完了する。
 マロニエ線 成果目標である舗装打ち換え及び歩道拡幅について、計画の通り平成19年度に完了する。

②
 要素事業の進捗について、遅れはなく計画の通り完了する。

2. 事業効果の発現状況

①成果目標に関連する要素事業の効果の発現状況	歩道を拡幅する際既存の植樹帯及び街路樹を撤去・伐木したので運転者から歩道の視界がよくなり歩行者に対し一層の安全確保ができる。又、歩行者はすれ違いはもちろんのこと、街路樹からの枝葉等による視界並び歩行障害が無くなり、走行車両を認識しながら安全に歩行できる様になりました。		
	(一) マロニエ線 整備後	(他) プラタナス線 整備後	
			
②成果目標の達成状況	長期目標値 (H19末目標)	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因 目標達成
	長期実績値 (H19末実績)	100.0%	
③成果目標以外の要素事業の効果の発現状況	整備前は、上記路線の車歩道に対し舗装破損による走行障害、タイヤの騒音、街路樹による視界並び歩行障害等の苦情が多々寄せられたが、整備後はそれらが解消され苦情は皆無となりました。		